

## 今頭にあること & 西神戸須磨近郊 季節の移ろい点描 2023.

酷暑と目まぐるしく変わる天候の中で お互い無理せず今を元気に 2023.9.10.



### 1. 今頭にある気にかかる事 先が見えぬ日本 日本は何処へむかうのか 最近のインターネット・新聞より

■ 若者の時代と言えども忘れてはいませんか「爺さんの声……」

神戸新聞コラム「正平調」9月10日「間を大切にしませんか」

■ 最近のインターネット・新聞より 気にかかる日本 日本は何処へ向かうのか……

日本人は己の価値に全く気付いていない… 谷本 真由美著述家、元国連職員

■ 【HP 前月8月の記事】より コロナも収束して新しい時代に 日本の先行きは???

### 2. 9月夏から初秋へ 季節の移ろい点描 2023.

#### 2.1. 毎日の散歩道で見た夏から秋へ ゆっくり目を凝らせば見えてくる季節の移ろい

● 神戸 の散歩道から眺める初秋 空の雲が織りなす西神戸須磨近郊の山・海・街

● またひとつ新しい散歩道発見 名谷から静かな旧道・遊歩道を通って妙法寺へ 2023.9.9.

#### 2.2. もう西六甲の縦走路脇にはキノコが出だしました

【収録1】文珍さんの落語見聞録 盆の時期も終わりましたが、「お盆のナスに似てきたなあ」

【収録2】今頭にある気にかかる事 先が見えぬ日本 日本は何処へむかうのか

# 1. 今頭にある気にかかる事 先が見えぬ日本 日本は何処へむかうのか

最近のインターネット・新聞より by Mutsu Nakanishi

- 若者の時代と言えども忘れてはいませんか「爺さんの声・・・・」

神戸新聞コラム「正平調」9月10日「間を大切にしませんか」

- 最近のインターネット・新聞より 気にかかる日本 日本は何処へ向かうのか....

日本人は己の価値に全く気付いていない... 谷本 真由美著述家、元国連職員

- 【HP 前月8月の記事】より コロナも収束して新しい時代に 日本の先行きは???

九月になって さすがの入道雲にも衰えの兆し、朝晩はめっきり涼しくなりましたが、まだまだ続く酷暑。

それに台風襲来が追い打ちをかけての集中豪雨。地球温暖化による気象の激甚化が襲いかかる。

いかがでしょうか お変わりございませんか どうか 無理せずわが身をお守りください。

あっという間に季節も深まり残暑とは言えなくなりましたが、

まだまだ昼間の坂道は身に堪えます。どうか 無理せず毎日を元気に...

また、平々凡々の毎日ですが、漏れ聞く世相の変化と行き先不安に これで日本はいいのだろうかと。

若者の時代と肝に銘じつつ、でも"命は宝" "No War From Kobe"

みんながみんな平和な暮らしを早く取り戻せますように.....

HP更新が遅れた9月10日の神戸新聞コラム「正平調」に「爺さんの声・・・・」として下記のコラムが・・・・

なか日本いいところを忘れてはいませんか・・...

神戸新聞朝刊コラム「正平調」2023.9.10.より 「間を大切にしませんか」

正平調

新聞広告に通信販売のおせち料理が目立つようになってきた。華やかでおいしそう。まだ秋の入り口なのにと思ひながらも、ついお重に見とれてしまう◆近年は時の流れが速く、先取りも多い。特に若い人たちは。うかうかしていると、すっかり置いてきぼりをくらってしまう。幼いころからスマートフォンを手にしていた、いわゆる「Z世代」の時間感覚は違う◆ビデオを2倍速で見て、要約サイトや作品を短くまとめたショート動画を好んだりする。短い時間で効率よく行動することを、「タイパが良い」と言うそうだ。コスパにちなみ、タイムパフォーマンスを縮めてタイパ。ファストフードや冷凍食品、カップ麺はタイパ飯。仕事もタイパが問われる◆しかし:である。筆者をはじめとする「G(じーさん)世代」は言いたい。「間<sup>ま</sup>」を大切にしませんか?と。映画や舞台で表現される沈黙を楽しみ、心の機微を読み取る。文章をじっくり読んで行間に感じ入る◆間<sup>ま</sup>は、削除されるべき無駄ではなく、豊かさや人ととの関係性を育む大切な時間◆秋の夜長。スマホを置いて月を見上げてみよう。ゆったりと本を読んでみよう。きっと、間<sup>ま</sup>のパフォーマンスを実感することだろう。G世代からタイパより"マノパ"をお勧めする。 2023.9.10

また、インターネットを眺めていて、こんな記事にも出逢いました。

最近の新聞・Internetより

気にかかる日本 日本はどこへ向かうのか.....

- 日本人は己の価値に全く気付いていない... 谷本 真由美著述家、元国連職員

世界中で圧倒的な人気を誇る"日本では当たり前"の身近な製品

命を左右するような戦場で日本製は信頼できる

日本が世界に存在感を示せるものは何か。

イギリス在住で著述家の谷本真由美さんは「日本人は世界から生真面目で信用されているため、車や家電など業務用の機械など専門性の高い製品はまだ日本製が強い。命を左右するような戦場で、イスラム国のテロリストさえ乗っている車はトヨタのピックアップトラックである」という――。

激変する国際情勢の中で、先が見えぬ日本。 政治は相変わらずの老害・先送り・丸投げの場当たり政治の中で、見つけた この谷本真由美氏のプレジデントオンラインの記事。

きっちり根拠・検討がなされている訳でもなく、「近視眼的な良いとこ採りの極端な記述が並べられている」との匂いもあり、また、谷本氏の著作? 「激安ニッポン」の販売戦略の為の記事にも見える。

でも、先進国の中で日本だけが超低金利・円安誘導の政治が続く。

日本の中にいると見えぬ実態が描かれてしいるのかも知れないと。

全面的に賛同しているわけではありませんが、なにか、面白く「ふむふむふむ」と  
私の今の思いに響くところもあり、 参考までに記事転記。

今月のFrom Kobe 9月収録2として収録しています

2023.9.1. Mutsu Nakanishi

## 今月の From Kobe 9 月 収録2

最近の新聞・Internet より 「気にかかる日本 日本はどこへ向かうのか……」

■日本人は己の価値に全く気付いていない… 谷本 真由美著述家、元国連職員

■この夏の神戸新聞コラム「正平調」にはこんな話題も 今曲がり角にいる日本

<https://infokkkna2.com/ironroad2/2023htm/2023mutsu/fkobeR0509A.pdf>

参考 【HP 前月 8月の記事】より 2023.8.1. by Mutsu Nakanishi

コロナも収束して新しい時代に日本の先行きは???

今 頭によぎる不可思議な日本 年寄りの戯言です

理念なき日本の矛盾がもうあからさまに

もう飽き飽きのTV いつまで続けるのか芸能化志向 newsも NHKも・・・・

新聞は一般紙・地方紙共に大幅部数減少の苦しみが紙面に現れている。

昔人間の私には、やっぱり後に残り、じっくり読める文章・文書なき世界にはなじめない。

拙速の言葉もある。 熟慮・判断力を養うのにすびーどを求めるのは愚ではないか・・・・

あまりにも無責任な検証なき高度情報化・スマホの世界 今度はチャットAIだと・・・・

でも 通信情報網ではりめぐらされた混乱のおおきさにも目を向けよう。

・一か所の電車ポイント故障が首都圏電車を何時間も・・・

・マニュアルだけでは動かぬ機械・組織 マニュアル担い現場技術の伝承

その場限りの無責任情報が社会の主流に スマホ社会・日本の情報化はまさに親方日の丸社会に逆戻り

年寄りのぶつぶつです。考えはひとそれぞれ でも一度振り返ってみてほしい。

●インバウンドで外国から大勢押しかけ、京都など日常の暮らしに脅かされる

東京へは長くいってないのでよくわからぬが大阪難波・京都・神戸三宮を

歩く外人みれば今の日本が見えてくる。

円安の日本の所得水準・・・・ 株価は上がれど生活を苦しめる物価高

手をくださず、人頼み、丸投げの無責任政治

丸投げされればされるほど儲かる輩がいる でも手を下している現場は益々疲弊

知恵を駆使して先端を切り開くリーダーとそれを実現する現場は両輪

それが繋がらぬ日本 自分優先が新しい 先端だという。

●円安/ドル高の構図 どうみても日本がおかしい・・・・

高い資源・原料をドル建てで買って 製品を円で作って、 安い円をドル換算で外国に売る  
この差額がみんな日銀国債でたまっているから、誰も気にしてない。

今 外人が押し寄せ、大量の株を買う外国資本

高くても買わねばならぬ日本 それを商品・暮らしとして回さねばならぬ日本

物価安定・外国との資金格差

これら吸収しているのが、日銀にたまる膨大な「紙切れ国債」だ。

国民一人一人の負債 破綻すれば国民一人一人にのしかかる。

知恵はあるのだろうか・・・・

人類が生き延びてきた道は「他を思う心」とそれが生み出した「知恵と物」

地球46億年 鉄の惑星 良いことも悪いことも一杯作り出してきた「鉄」

「鉄」の仕事に携わってきたものとして、「鉄」が輝きを取り戻し、

新しい道を切り開いてくれるものとの期待一杯です

「人間は一人だけでは生きてゆけない」

今や人類の危機 核戦争と灼熱化する地球 一人一人が考えよう 地球人そして平和な暮らし

とりもどそう日本 そして 平和な暮らし 勝手なことをひとりぶつぶつです

2023.8.1. From Kobe Mutsu Nakanishi

## 2. 9月夏から初秋へ 季節の移ろい点描 2023.

### 2.1. 毎日の散歩道で見た夏から秋へ ゆっくり目を凝らせば見えてくる季節の移ろい

- 神戸 の散歩道から眺める初秋 空の雲が織りなす西神戸須磨近郊の山・海・街
- またひとつ新しい散歩道発見 名谷から静かな旧道・遊歩道を通って妙法寺へ 2023.9.9.

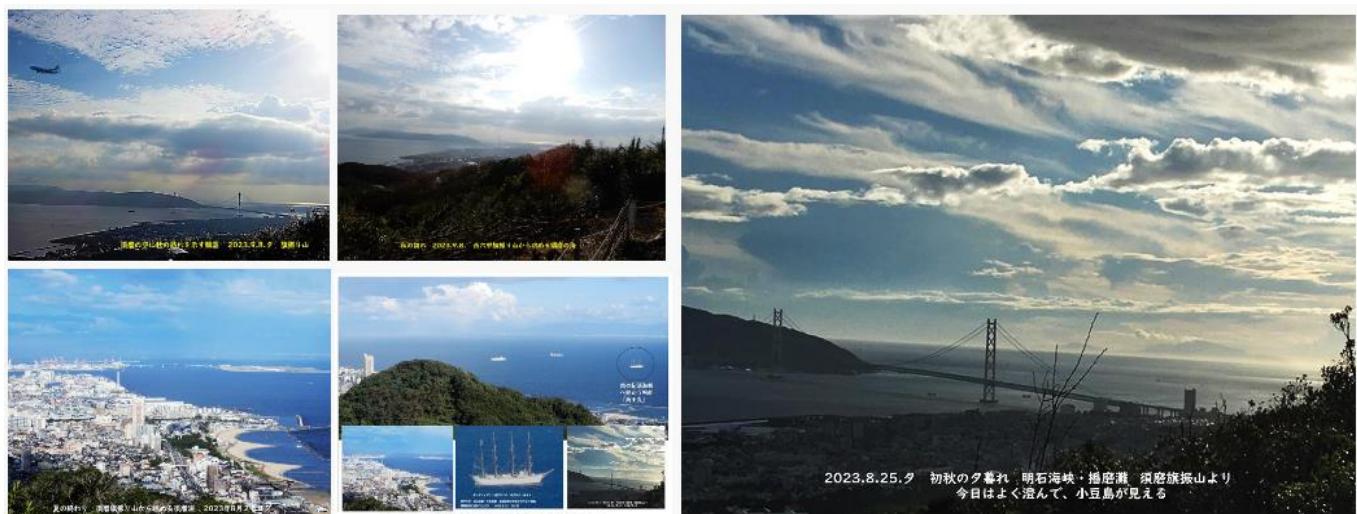
### 2.2. もう西六甲の縦走路脇にはキノコが出だしました

#### 2. 每日の散歩道で見た西神戸近郊の夏から秋へ 8月下旬から9月上旬



ゆっくり目を凝らせば 季節の移ろいが大きく広がって見えてくる。今まで見えなかつた世界が見えてくるのが楽しみ。  
この9月の空の雲の夏と秋とのせめぎあい、海には霞が取れて遠くまで見える大阪湾。明石大橋の向こうにうっすら見える小豆島新聞で読んだ神戸に入港していた帆船海王丸が訓練生を乗せて紀淡海峡へ向かう姿も・・・・  
眼を足元に転ずれば、山道の端にに小さなきのこが顔を出し、見上げる樹木の葉は新緑から黄色く色好き始めている。  
神戸の街の小さい秋みい～つけた。

#### 《初秋の空の雲が織りなす西神戸須磨近郊の山・海・街》



## 《またひとつ新しい散歩道発見 名谷から静かな旧道・遊歩道を通って妙法寺へ 2023.9.9.》



名谷へ薬を貰いに行った帰り、いつもは県道65号のバス道を歩くのですが、ふと思いついて、名谷を垂水へ流れ下る福田川沿いの旧道を遡って、できるだけ車の通らぬ道をみつけて帰ることに。いつもの好奇心。名谷の崖の縁にそって、北へ集落を抜ける旧の街道の散歩道に出会いました。また、その鈍付きには崖をジグザグに登る階段道。知らなかった散歩道 挨拶をかわしながら崖の上に広がるニュータウンへ。

今度は崖の縁を通り、名谷のそきながら住宅地をぬけて、崖のきたを東西に抜ける幹線垂水/妙法寺線沿いの名谷パティオの南縁に。

田舎の集落風景を残す狭い一本道がニュータウンのすぐそばに隠れ、散歩道としても使われているのにびっくり。

もう名谷には田舎の原風景は残っていないと思っていたが・・・・

名谷パティオの南縁からは名谷団地外周遊歩道を巡って、妙法寺 若草の丘へ帰る。

この周辺は秋一番先に色づき、街の美しい秋景色が見られる散歩道。まだ夏が残る秋の始まりですが、

街の喧騒から逃れた緑に包まれた静かな散歩道 初秋の景色変化を楽しみながら、帰りました。

また ひとつ散歩道みいへつけ。 2023.9.9. Mutsu Nakanishi



## 3.西六甲 須磨の縦走路脇にはキノコが出だしました 2023.9.8.

ウバメガシのトンネルが続く道脇の草むらや切株の上に幾つもキノコが出だしています。

名前も知らぬ毒キノコとおもいますが、静かな山道をかざってくれて秋の気配

そっと山道を外れて 枝道や草むらの切株に顔を出したキノコを探す。

秋の里山散歩のたのしみのひとつ。

残念ながら名前も知らずですが、秋の散歩道の楽しみ。



また、酷暑の夏も休まず続いている鉄拐山の崖下 一の谷の砂防堰堤工事が進み縦走路から堰堤が見えるところまで進みました。

この一の谷の砂防工事も縦走路から谷下へメインのワイヤーロープを張っての難工事。

完成まじか?。でもさらに下でも大型重機が見えるので 堰堤工事は続くのでしょう。

崩壊が絶えず進行している六甲の谷筋 近くで幾つも砂防堰堤を見かけます。

この縦走路もいずれ崩れて歩けなるかも。

すぐ隣の横尾山馬の背の縦走路も崩壊対応の工事が進んでいます。

【収録 1】 文珍さんの落語見聞録 神戸新聞 2023.8.17.朝刊より

盆の時期も終わりましたが、「お盆のナスに似てきたなあ」



文化

落語の見聞録

文珍

お盆の時期も終わつた  
毎年、故郷のわが家では、  
先祖さまを麻酔を以て迎  
え火とし、御詠歌をあげ、  
仏壇はお供え物のナスに  
はしを刺して、それを見な  
がら自分の身体に似てきた  
なあと、思つたり。  
親戚が集まり、その小さ  
な女の子がお坊さんにお経  
をあげいたたいてる時に

お盆の時期も終わつた  
毎年、故郷のわが家では、  
先祖さまを麻酔を以て迎  
え火とし、御詠歌をあげ、  
仏壇はお供え物のナスに  
はしを刺して、それを見な  
がら自分の身体に似てきた  
なあと、思つたり。

2023年(令和5年)  
8月17日 本曜日

神戸新聞社  
電話 0781-36258  
郵便番号 651-0043  
郵便局名 神戸市立郵便局  
電話 078-226-2105  
郵便番号 651-2105  
電話 078-226-2147  
郵便番号 651-2147  
電話 078-226-2148  
郵便番号 651-2148

お盆のナスに似てきたなあ

走り回る、するどきの父親  
が「ボウズ静かに」と一  
喝するお經あげていた  
お坊さんがギクッ「いや、  
あの、違うんです、違う  
です」とまあよくありがち  
な風景。そして精霊流しよ  
ろしく送り火をして故郷の  
デカンショ祭、これがコロ  
ナ騒動も人類になつてか  
ら、久々に行われた。残念  
ながら、こつちはコロナで  
自虐していた落語会や独演  
会も再開され、忙しく参  
加せないでいる。

そんな中、昔からの友人  
で、名を葉木君といふそ  
の葉木君に日々に電話連絡  
をしたくなつた。なぜなら  
ニュースで葉木古軍の大手  
企業が店前の葉木を切つ  
たとか、除草剤をまいたと  
か話題になつてないので  
「あーもしもし葉木君、久  
かおいで。そうすれば婚礼

しめりやなあ」「お、どう  
した?」「いや君が葉中古  
車の会社に切られてないか  
と…思つてなあ」さて、  
どう反応してくるかな?と  
思つてみるとアハハ!お  
かげでボクは切られてない  
けれど、頭の上を除草剤をま  
かれんかなあ、髪の毛が  
最薄うなつてきと返し  
てきた。なかなか面白い反  
応をしてくれて、落語家の  
私が一本取れた。  
お盆はそんな昔の友達を  
ふと思ひ出させてくれます  
落語「三年目」はほれ合  
ついた夫婦の妻の方が病  
となり、享年三十歳も離れ  
ない看病のかいなく死な  
ります。すぐ出ますよ。  
いい断だ。

かづら・ぶんちゃん=落語

その晩、先妻が幽霊にな  
つて現れ、うらみを言う。「そ  
れならもつと早く婚礼の晚  
かる。3年目の法事を通して  
こない。そして子供も授  
けた。頭の上を除草剤をま  
かれんかなあ、髪の毛が  
最薄うなつてきと返し  
てきた。なかなか面白い反  
応をしてくれて、落語家の  
私が一本取れた。  
お盆はそんな昔の友達を  
ふと思ひ出させてくれます  
落語「三年目」はほれ合  
ついた夫婦の妻の方が病  
となり、享年三十歳も離れ  
ない看病のかいなく死な  
ります。すぐ出ますよ。  
いい断だ。

かづら・ぶんちゃん=落語

II 次回は9月21日 II

今回の文珍さんはお盆の話 多くの人が故郷に帰省するお盆。

何となく人恋しくて、ふと頭に浮かぶ仲間に電話をして、昔話に興ずる。

また、予期せぬ仲間からの電話やメールが懐かしい。

今年のお盆は台風襲来・激変する天候。でも久しぶりの仲間との会話が弾むお盆でした。

年老いて ますます人恋し 酷暑の夏

落語は「3年目」 相思相愛だった妻がなくなつて3年目

後妻を貰った旦那の所へ、亡くなつた前妻が幽霊になって出てくる話。何で3年もたつて…と。

厳しい夏 今大きな話題になっている中古自動車販売の「ピッグ…」の話も織り込んで。

街で看板みかけることもあるが、関西では「車買うならハナテン…」の旧名の方がなじみがある。

こんな事になってるんやと。みんな我が身大事 でも明日は我が身

ちょっと考えなだめなのでは。

落語のネタに みんなが笑える社会になってほしいなあ……とも。

文珍さん お盆のお供えのなすびみたいに太ったのかなあ…

2023.9.5. Mutsu Nakanishi

## I.日本人は己の価値に全く気付いていない… 谷本 真由美著述家、元国連職員

「世界中で圧倒的な人気を誇る"日本では当たり前"の身近な製品」

「命を左右するような戦場で日本製は信頼できる」日本が世界に存在感を示せるものは何か。

イギリス在住で著述家の谷本真由美さんは

「日本人は世界から生真面目で信用されているため、車や家電など業務用の機械など専門性の高い製品はまだ日本製が強い。命を左右するような戦場で、イスラム国のテロリストさえ乗っている車はトヨタのピックアップトラックである」という――。

PRESIDENT Online 2023/08/31 6:00 <https://president.jp/articles/-/73028?page=1> より

激変する国際情勢の中で、先が見えぬ日本。 政治は相変わらずの老害・先送り・丸投げの場当たり政治の中で、見つけたこの谷本真由美氏の「プレジデント オンライン」の記事。

きっちり根拠・検討がなされている訳でもなく、「近視眼的な良いとこ採りの極端な記述が並べられている」との思いもあり、また、谷本氏の著作「激安ニッポン」の販売戦略の為の記事のにおいがするのですが……

先進国の中で日本だけが超低金利・円安誘導の政治が続く。日本の中にいると見えぬ実態が描かれているのかも。

全面的に賛同しているわけではありませんが、なにか、面白く「ふむふむふむ」と

私の今の思いに響くところもあり、 参考までに記事転載。 2023.9.1. Mutsu Nakanishi

### 〈日本人は己の価値に全く気付いていない〉 谷本真由美

2023.8.31. on line President より

北米や欧州で「日本のもの」は安心できる

日本人は外国に売ることができるサービスや商品があることに気がついていません。そういったものをどんどんマネタイズ、つまりお金に変えていくべきなのです。日本人は控えめな人が多いのでマーケティングや営業が非常に下手くそです。しかも国内のことしか知らないので、外国では一体どういうものが受けて何が売れるのかということを理解していないのです。

これは日本だと日常生活でさまざまな国の人と接触しないことや、教育がドメスティックすぎるということがあります。たとえばまず日本人は日本の海外でのイメージに気がついていません。

特に中国では 日本人というのは非常に生真面目で嘘をつかないので取引がやりやすいということで有名です。

なので、彼らは日本人と取引する際、相手が誠実なので安心して買うことができると言っているのです。

これが日本で中国人が日本の商品を爆買いする理由です。

彼らは母國の人々を信用できないので日本人から買うのです。これは中国人だけかというとそうではありません。実は北米や欧州でも日本のものは安心できるということで有名です。

なので、非常に材料にうるさい健康志向の人々やベジタリアンはまだ日本の超高価格帯の調味料や米を買っているのです。これは単に味がいいからということだけではなく、日本のものであれば変なものを使っていないから衛生管理がきちんとしているから安全だということです。

専門性の高い製品はまだ日本製が強い

これは日本車や日本の家電に対しても同じなのです。

トヨタをはじめとした日本のメーカーは海外ではまだまだ強く、道路状況が厳しいタイや南米、アフリカでも日



谷本真由美『激安ニッポン』  
(マガジンハウス)

本車は人気があります。イスラム国のテロリストでさえ、乗っていたのはトヨタのピックアップトラックです。命を左右するような戦場で日本車を使いこなしているのです。

そういう厳しい場には中国車や韓国車は存在感がありません。

家電は韓国製よりも人気はありませんが、業務用の機械など専門性の高い製品はまだまだ日本製が強いのです。

これも日本人の生真面目さや信用というのが裏付けになっているのです。

日本の製品やサービスにはこういったイメージがあるということを理解してもっと多様なものやサービスを海外の人に売ればいいのです。

どんなものに需要があるかは普段から外国人の人と接觸したり実際に現地に行ってみて自分の手足と目を使って調べてみたりするのが重要です。



写真=istock.com／Grassetto 写真はイメージです

### 自分で調べて学べば商機はいくらでもある

これに関しては今の日本人は戦国時代の武将に学ばねばなりません。

彼らは電話もインターネットもなく言葉もなかなか通じない中で、欧州諸国は日本に対して何を求めているのかということを察知し、数少ない情報の中から彼らの戦闘力や戦略を理解して植民地化を防ぎました。

仙台藩主だった伊達政宗は約400年も前に、ノビスパニア（メキシコ）との直接貿易を求めて、イスパニア（スペイン）国王及びローマ教皇のもとに、慶長遣欧使節と呼ばれる外交使節を派遣しているのです。

伊達政宗だけではなく、当時の戦国武将たちは欧州の人々のことを熱心に研究し、地政学も理解していました。

インターネットやメディアが発達しており移動も自由な現在において日本人はもっと多くのことを個人でも学ぶことができるはずです。自分で調べて学ぶ中で商機が見つかるはずです。そしてトライアンドエラーで実際に売ってみてどうなるかということもやってみるほかありません。「とりあえず考えるよりやってみよ」です。

停滞している日本に足りないのは、こういった「やってみよう」「失敗してもいいから試してみよう」と思う挑戦心と思い切りのよさがある人々です。

### 投資すべきは「インバウンド」より「高付加価値の産業」

日本のものやサービスは海外で売れるとは言っても、最近流行りのインバウンド、要するに外国人観光客に依存する商売を進めていくのは考えものです。

基本的に観光業というのは地元の風景や観光名所の切り売りにすぎませんから自分たちで何かつくり出すような技術やアイディアが発展していくわけではありません。

付加価値が高い機械や技術をつくり出すよりも、地元に観光客を連れてきて ホテルに滞在させるほうがはるかに簡単なのです。これはご先祖の遺産を切り売りして生活する子孫とまったく変わりがありません。しかも日本全体の経済規模から考えると観光業が占める割合というのは非常に小さいのです。

世界旅行ツーリズム協議会（WTTC）の2022年の調査によると、日本の旅行・観光産業の寄与額は2063億ドルでGDPに占める割合は4.2%にすぎず、海外旅行者の支出が占める割合はわずか0.7%、G20参加国中で最低値なのです。これはコロナで日本と海外を往来する人が激減したために外国人観光客の支出が90%近くも減ってしまったというのもあるのですが、例年通りだったとしてもGDPの2%にもいかないですから非常に小さいわけです。

政府はこれをもっと拡大していくという目論見のようですが、それよりももっと永続性があり、高い付加価値を得ることが可能な産業のほうに投資をしていくべきでしょう。

### 有望なのは「IT×製造業」

そして日本はこれからどんな業種に注力していくべきなのでしょうか。

まずは筆頭にあげられるのは情報通信産業です。ここ最近はAIの発展が注目されていますが、今後はもっと伸びていくはずです。さらに情報通信技術と製造業のハイブリッドが伸びていきます。

その代表の一つかたとえば自動運転の車であったり、産業機器や家電の自動化、遠隔操作といった世界です。医療や軍事の世界でも、情報通信技術を活用した機器がますます活躍しています。

このような世界では単にサービスや機械を提供するよりも、正確性や継続性が非常に重要です。

収集したデータをきちんと管理したり保全したりすることも重要なことです。これは世界各国でデータ漏洩や独裁国家によるデータの悪用がどんどん外に出てくるようになったからです。その点、日本は、民主主義国家でありきちんと仕事をする人々が多いので非常に信用性が高いわけです。

しかし、日本は自分たちの強みをアピールする力が本当に弱い。日本人はそれを当たり前だと思ってやっているので海外の人は日本人がそんなに厳密に仕事をしているということを知らないのです。

こういった生真面目さや手順の厳守、コンプライアンス体制の厳しさなどをどんどんアピールしていくことも重要でしょう。しかも日本には多様性がないと批判されていますが多様性がないということはある意味強みになるのです。

それは国内で働く人々が日本人だから出身校や出身地がはっきりしていますから、バックグラウンドチェックが非常に容易だということです。ダイナミックなプロジェクトを立ち上げたり変わったことをやるのには多様性がないことは不利になりますが、その一方でいい点もあるということは強調していくべきなのです。

### 「格差」が広がると「犯罪」が増える

最後に、生活面での変化についても述べておきます。

今後日本では労働者の階層が分かれていくので、日本では格差がどんどん広がっていくはずです。

実際、最近では北米や欧州の手口を取り入れた犯罪も増えてきました。

たとえば数万円の現金を奪うのに、真っ昼間に正面から人様のお宅や商店の玄関口から入り込んで強盗を行ったり、昼間に宝石店を襲ったりするような非常に荒っぽい犯罪です。しかもやっているのが未成年や20代の若い人々が目立つようになってきました。

従来の組織犯罪がやらなかったような非常に効率が悪く手荒い事件が目立つようになったわけです。

今後は日本もどんどん格差が広がっていくので、とりあえずとにかく現金が欲しいという非常に短絡的な目的でこういった略奪を行うような犯罪が増えていくはずです。

これはすでに北米や欧州が辿ってきた道です。

たとえばイギリスは1980年代までは比較的経済格差が小さく、特に戦後はイギリス病と言われた停滞を経験し経済不況もあったのでみなお金がありませんでした。ところが金融ビッグバンで金融改革が行われ、製造業中心の社会からサービス業中心の社会になって階級の下克上が起こるようになりました。

そこで起きたのが経済格差の拡大で、生まれよりも努力によって稼ぐことができるようになったわけですが、お金のあるなしがはっきりと目に見えるようになりました。

しかもサービス業が中心になってきたので雇用が短期間のものばかりになり、かつてのような終身雇用がなくなります。

しかも仕事自体もかつて製造業が盛んだった頃は労働集約型だったのですが、今や少人数の頭が良い人が行えば稼げてしまう業種が増えてきたので稼げる仕事が減っています。

そこでもうあまり稼ぐことができない若い人たちが空き巣や窃盗、薬物取引などを行うのです。

日本はだいたいイギリスの30年ぐらい後を追っているので、あと10年もしたら今よりも非常に短絡的な形での空き巣や強盗などがどんどん増えていくはずです。

そのような中で生活していくには、性善説に沿ってはダメです。



※写真はイメージです

写真=iStock.com/ipopba

□

## この夏の神戸新聞コラム「正平調」にはこんな話題も 今曲がり角にいる日本

「同じ言葉も使いよう それは羽毛より軽くなり、それは石より重くなる」 2023.8.25. 正平調より

同じ言葉も使いよう それは羽毛<sup>は</sup>より軽くなり それは石より重くなる。詩人の堀口大学は書く。(そのけじめに詩はほろび そこだけに詩は生きる) ◆軽い気持ちで発せられたデマやとんでもない怪情報でもいつたん広がると、うわさがうわさを呼んで人々の不安をかき立てる。原発事故から12年、今も福島の農産物や水産物は風評被害の渦中にある◆昨日、福島第1原発にたまる処理水の海への放出が始まつた。放射能レベルが科学的に安全だというのは理解できる。国際機関も福島に常駐して監視している。それをどう人々の安心に結びつけていくか◆こんな時こそ政治の出番だ。かつて「アンダーコントロール」などと軽い言葉を発した首相もいたが、岸田首相には石より重い言葉で誠実にうわさを打ち消し政治のけじめを示してもらいたい。心の底から、そう願う◆本紙で福島の若手漁師が言っていた。「放出しかないんだろうけど自分は反対。ただ、早く廃炉になつてほしい気持ちもある」。作業が続く限り、放出は続く。一日も早く廃炉を。心の底から、そう願う◆「どれだけ福島の風評被害を抑えられるか。それが自分たちの役目」。水産物の卸業者や小売業者から、重い言葉が聞かれる。私たちも連なる。

2023.8.25

正平調

「地球の宝を守りたい 収蔵品を守るために人間はクーラーを切って耐えている 国立科学博物館で」 2023.9.2.

クーラーのない自室でいま、このコラムを書いている。大学生の頃、下宿用に買った扇風機が健在で、どうしても捨てられない。熱中症対策が欠かせない今どき非常識と怒られそぞろだが、暑さに耐えられないのは人間だけではないらしい◆この夏、驚くニュースはいくつもあつたが、最も衝撃を受けたのは国立科学博物館（科博）が始めたクラウドファンディング（CF）だった。光熱費の高騰で500万点に上る収蔵品の維持管理が限界だという◆科博は動植物や化石など世界中の標本を集め世界最大級の博物館だ。地球と人類の蓄積を未来につなぐ知識が欠かせない◆それがピンチとは。「地球の宝を守りたい」。館長の切実なメッセージが通り、目標の1億円を大幅に上回る寄付があつたが、これでよしとなるはずがない。日本の文化行政の貧困ぶりが白日の下にさらされた◆収蔵品をするため「人間渡せば、英國や米国に比べ、科博の収蔵品数は10分の1以下。CFは11月5日まで続く。何にお金を使うべきか。汗をふきふき涼しい頭で、よく考えたい。 2023.9.2

正平調

台風一過で済まない現実がうらめしい 新たな対策が・・・災害に「まさかは禁物」 2023.8.17.

台風は生き物じゃないのに、なんで目があるの?」。子どもの素朴な疑問に答える夏休みのラジオ番組でこんな質問を聞いたことがある。言われてみれば、雲や風には目がないのに、なぜ?◆そのとき専門家がどう応じたかは覚えていないので、素人ながら筆者が回答するところなる。台風の赤ちゃんは海水温が高い赤道周辺で生まれる。上昇気流が地球の自転で時計と逆回転の風になると巨大な渦巻きになつて...。平易な解説はじつに難しい◆こうして生じた鋭く大きな目がどこへ向かうのか。お盆の間、ハラハラして見守つたが、まさか兵庫を縦断するとは。兵庫への上陸は2018年の台風21号以来5年ぶり。やはり災害に「まさか」は禁物である◆困つたことに、地球温暖化で強力な台風は増えそうだという。国立海洋研究開発機構によると、21世紀末に強い台風は6・6%増、降水量は11・8%増えると予測する◆幸い、それほど大きな被害はなかつたが、浸水などで住宅や道路に影響が出た。地盤が緩んだ地域では土砂崩れの心配が続く◆大きな台風の後には大量のプラスチックごみが海に流れ出す。先の機構が調べたところ1300倍に増えたというから新たな対策が必要だろう。台風一過で済まない現実がうらめしい。

2023.8.17

正平調